



「未来あり」の過渡期

校長 田邊 雅也

体育発表会は皆さんのおかげ

体育発表会は、保護者・地域の皆さんの応援のおかげで、子供たちはのびのびと表現し、学級が団結して競い合うことができました。PTAによる保護者入れ替わり等の運営、そして、地域と連携した教育活動も実現しました。増築校舎建築に伴い、校庭が狭くなり、ご不便をおかけしましたが、保護者・地域の皆さんと共に運営できたことで、子供たちにとって、思い出に残る体育発表会となりました。本当にありがとうございました。

保護者・地域との「共育・共創」のおかげで実りの秋

体育発表会以外にも、地域と「共育・共創」し、「本物」に出会える機会がたくさんありました。よさこいの地域関係者の皆さん、地域の店舗・施設の皆さん、黒目川的环境を守るボランティアの皆さん、地元農家さん、眼科医さん、マレーシア大使館の皆さん、元Jリーガーさん、現役消防士さん、世界陸上出場歴のある元アスリートの方、クラブ活動で協力して下さる皆さん等、保護者・地域との連携により、子供たちが本気で学べる教育活動を創造できています。自分で問いを立て、課題解決し、振り返りながら、また新たな問いを立てる、といった「生徒エージェンシー」(*)を育む教育活動になっています。この秋は、保護者・地域との「共育・共創」のおかげで、実りの秋となっています。

学校における働き方改革

しかし、教育界は、全国的に大きな問題に直面しています。教員の長時間労働、持ち帰り仕事、カリキュラムオーバーロード(学びの詰め込みすぎ)、加えて、過剰な苦情や不当な要求などによる精神的な負担で、全国では、教員の心身の健康にも影響を及ぼしている例が山積んでいます。確かに、児童の下校時刻から勤務時間終了までの時間で、会議、授業準備やノート・ワークシートの添削等が間に合わない等の現状があります。教員の働き方には、ブラックなイメージが定着し、教員を目指す人が減り、全国の教育現場は悲鳴を上げています。働き方改革は、まさに、喫緊の課題です。「人手不足や多忙なのは、学校だけみたいないことを言わないで!」とお叱りを受けてしまいそうです。しかし、子供も教員も保護者も、笑顔があふれ、子供たちの未来に直結する学びのある、持続可能な教育環境にするために、働き方改革が必要なのです。

文部科学省からのメッセージ

令和5年8月末、文部科学大臣から、学校の働き方改革をさらに推進するためのメッセージが発表されました。質の高い公教育にするため、教師を取り巻く環境を、よりよいものにしないといけない、と強調しています。学校行事のあり方、ICTの活用、長時間勤務の見直し等、課題が山積みです。また、学校の働き方改革を推進するためには、学校、保護者・地域との積極的なコミュニケーションを図ることが必要であると述べています。



提言等(*)



大臣メッセージ(*)

「未来あり」の過渡期

教員の一番の魅力は、予測困難な未来を見据えた創造的な授業を行い、子供たちの成長に感動できることです。それに専念できる環境を整えることが求められます。削減できそうな教育活動を検討したり、行事を精選したりして、教育活動の見直しをしなくては、教育の質の維持が困難になってきました。また、勤務時間(8:30~17:00)をご理解いただき、電話連絡、個人面談や教育相談なども時間内に行えるようご協力をお願いします。

六小では、iPadを文房具のように使い、オーセンティック(本物)で、ウェルビーイング(幸せ)のある教育活動を、保護者・地域の皆さんと「共育・共創」する試行錯誤が続いています。おかげさまで、未来を見据えた教育活動に大きく変貌していると感じています。働き方改革と合わせて、考えなくてはならないですが、保護者・地域の皆様と連携しながら進めていきたいと思えます。六小の合言葉である「花あり 歌あり 笑顔あり そして未来あり」の「未来あり」をさらに輝かせるための過渡期を迎えています。ご理解、ご協力の程、よろしく申し上げます。

※生徒エージェンシー(Student Agency)

…「変革を起こすために、目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力」とOECD(経済協力開発機構)が定義

※提言等 … https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/099/mext_01551.html

※大臣メッセージ … https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/hatarakikata/1413144.htm